

令和5年度 鹿屋市市政モニター 第9回アンケート集計表

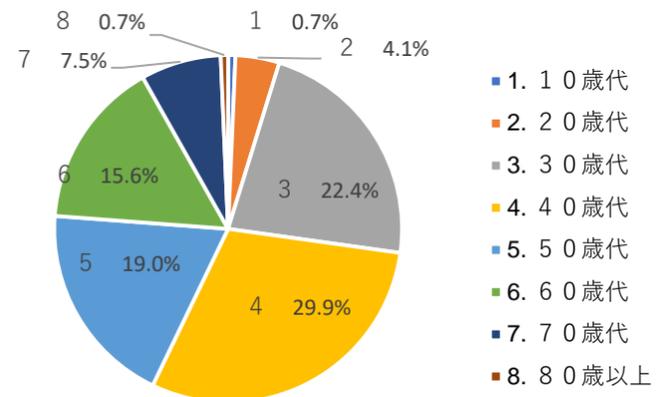
○テーマ：鹿屋市の農業の魅力について

○調査期間：令和6年2月2日（金）～2月16日（金）

○回収結果：送付数 200人(市内168人、市外32人)、回答数 147人、回答率 73.5%

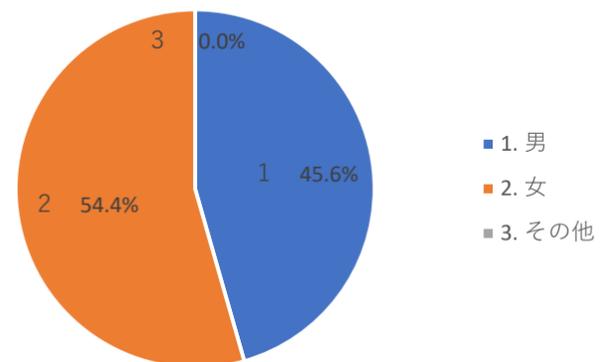
問1 年齢について

回答	件数	割合
1. 10歳代	1	0.7%
2. 20歳代	6	4.1%
3. 30歳代	33	22.4%
4. 40歳代	44	29.9%
5. 50歳代	28	19.0%
6. 60歳代	23	15.6%
7. 70歳代	11	7.5%
8. 80歳以上	1	0.7%
合計	147	



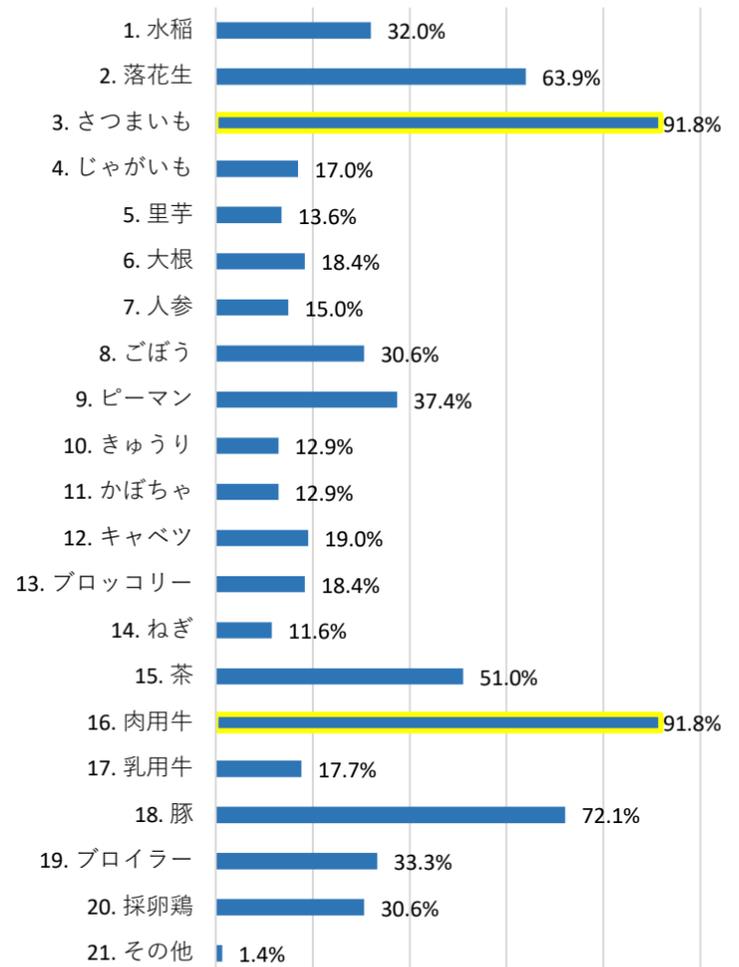
問2 性別について

回答	件数	割合
1. 男	67	45.6%
2. 女	80	54.4%
3. その他	0	0.0%
合計	147	



問3 鹿屋市の農畜作物として思いつくものを選択してください。【複数選択可】

回答	件数	割合
1. 水稲	47	32.0%
2. 落花生	94	63.9%
3. さつまいも	135	91.8%
4. じゃがいも	25	17.0%
5. 里芋	20	13.6%
6. 大根	27	18.4%
7. 人参	22	15.0%
8. ごぼう	45	30.6%
9. ピーマン	55	37.4%
10. きゅうり	19	12.9%
11. かぼちゃ	19	12.9%
12. キャベツ	28	19.0%
13. ブロッコリー	27	18.4%
14. ねぎ	17	11.6%
15. 茶	75	51.0%
16. 肉用牛	135	91.8%
17. 乳用牛	26	17.7%
18. 豚	106	72.1%
19. ブロイラー	49	33.3%
20. 採卵鶏	45	30.6%
21. その他	2	1.4%

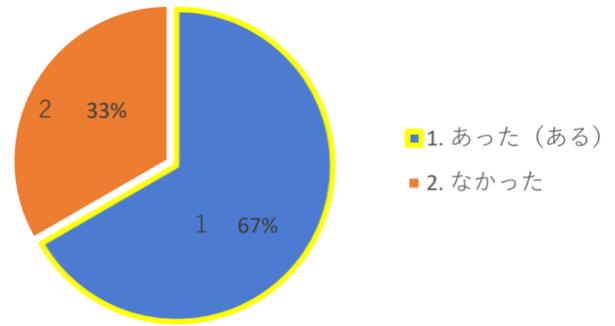


その他の内容

- ・思いつかない
- ・カンパチ

問4 これまで鹿屋市で農業に触れる機会がありましたか。

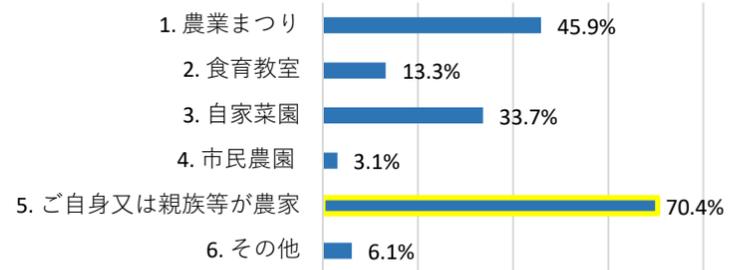
回答	件数	割合
1. あった (ある)	98	66.7%
2. なかった	49	33.3%
合計	147	



【問4で「あった (ある)」とお答えの方にお尋ねします】

問5 農業に触れる機会として該当する項目を選択してください。(複数選択可)

回答	件数	割合※
1. 農業まつり	45	45.9%
2. 食育教室	13	13.3%
3. 自家菜園	33	33.7%
4. 市民農園	3	3.1%
5. ご自身又は親族等が農家	69	70.4%
6. その他	6	6.1%



※「あった (ある)」と回答した方が母数

その他の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・仕事の手伝い ・教育現場にて ・飲食店経営のため

【問4で「あった(ある)」とお答えの方にお尋ねします】

問6 農業に触れてみて、農業のことをどう感じましたか。(自由記入)

【感謝など】

- ・食あつての私たちの生命ですので、大事な分野だと常々感じてます。
- ・自分達、農家さんが大事に育てた作物を収穫し、新鮮なものを調理して食すのは一番のご馳走だと思います。
- ・生きていくうえで最も大事な食生活を支えるものだと感謝する。
- ・食の大切さをより感じました。
- ・命の大切さを感じ、四季を感じられるのがいいです。
- ・ただお店で購入するより、大事に使い切る意識ができた。
- ・新鮮な野菜が手に入れやすい環境は素晴らしいと思う。
- ・野菜やお肉のありがたみを感じた。
- ・なくてはならないもの。ありがたいもの。頑張っしてほしい職業。
- ・農業は素晴らしい!

【楽しさ、達成感など】

- ・自分が小さい頃は田んぼでお米を作っていたので、田植えから稲刈りまでの間、災害や鳥たちからお米を守るのは大変だと思ったが、自分たちで作ったお米が一番美味しく感じていた。
- ・仕事はきついが終わった時の達成感は何ともいえない。
- ・大変だけど、面白い。
- ・小学生の頃、芋掘り体験や田植え体験をした際に、農業の大変さも感じましたが、泥だらけになって普段体験できないことをできる楽しさが一番思い出に残っています。
- ・都会に住んでいた時、自家栽培した新鮮な野菜を食べる事が憧れであった。実際、農園をしてみて一朝一夕ではない多変さを実感。しかし、野菜の自然の味に感動した。
- ・料理が好きなので楽しい。
- ・作物が成長するのが、楽しい。
- ・たまにやる分には清々しく楽しい。
- ・土を直に触って気持ちがよかったです。
- ・運動になって無農薬の野菜食べれて嬉しいです。何より新鮮。
- ・楽しい。(2件)
- ・良かった。

【食育的観点】

- ・子供達に触れさせることができ、食料経済や食育という観点から、とてもいい経験となっていると感じました。農業祭りでは、大人もいろいろな技術などを知る機会になって楽しかったです。
- ・子どもに農業や食について体験してほしいと、食育教室等に参加した。身近なところで、どんな物が作られているのかを知ったり、野菜を育てて収穫し、食べることを経験することで、苦手だったものを克服したり、食べ物に感謝する心も育ったように感じる。
- ・土に触れる事の素晴らしさを子供にも伝えたいと思った。
- ・農産物作りは難しい、勉強になる。
- ・鹿屋の産物をわかるし、自給自足大事かな?
- ・食べ物の大切さや 農薬など 有機栽培への興味
- ・子供の食育になる。
- ・小さい頃から、田植えや稲刈りと当たり前で毎年やっているので、食農に触れられてありがたいと思います。

【大変さ、苦勞など】

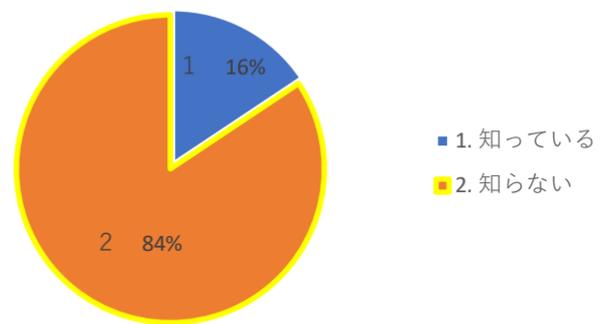
- ・大変な職業だと思います。だからこそ私達は感謝しないといけないなと思いました。
- ・食すのは、有り難く簡単な事だけれども、仕事としての作業は大変だなあと思った。
- ・野菜を作ってみて楽しみで野菜を作るのは収穫が楽しいが天気や害虫、雑草など手がかかり仕事となると農家の方は大変だと思う。
- ・お米を作るのは本当に大変、真似出来ない。
- ・実るまでの農家の方の大変さを感じた。
- ・大変苦勞が有る仕事。
- ・農業は大変。(3件)
- ・簡単そうに見えて、難しい。
- ・自然を相手に作業する事の大変さを感じた。
- ・なかなか簡単には成功しない。特に虫や病気との付き合いが難しい。
- ・生き物を育てる難しさ、大変さ。
- ・気温に左右される農業は大変だなと。
- ・労力がかかる 夏場の草刈り 草取りなど
- ・生き物と関わる大変さ、時間、お金等
- ・継続するのは大変だと思いました。
- ・仕事で取り組むと考えると大変です。たまの手伝い程度なら気分転換できて良いと思う。
- ・生まれた時から周り中、農業。親は朝から晩まで、身を粉にして働いていた。牛も飼育していたが、飼育数が少ない。収益は上がりず、1年365日、休みなし。そのような農業を、自分でやろうという選択肢は皆無でした。
- ・大変すぎる。
- ・飼料代が上がったり様々な値上げでとても苦しい状態です。
- ・50歳を過ぎてからピーマンを作っています。年齢があると思うのですが、体力的に辛い事が多いです。また、パートさんもなかなか見つからず大変です。自営なので、時間に融通が効くのはいいと思います。
- ・経営していくには厳しい環境。

(問6の続き)

- ・昔、実家が米を作っていたので、自分達も加勢をしていたので大変だった。しかし、現在は物価が高くなっているの
で、家族が食べれ位の野菜等は作った方が良いと思っています。但し、今はサラリーマンで時間がないことと、農作業
道具を持っていないので中々はじまらないのが現実です。本格的な農業は出来ないが家庭菜園は今後考えなければと思
います。
 - ・耕作面積が狭い。担い手不足。
 - ・農業は厳しい自営業であると思っています。
 - ・定期的に休みがとれていない。従事者がいつも疲れている。
 - ・狭い畑を100枚近く耕作していました。非常に効率が悪かった。
 - ・労働力に見合わない収入。生き物も飼っていたので、休みもないし、とにかく大変だという記憶しかありません。
 - ・市場に出すためには農協の組合員にならないといけない。
- 【その他】
- ・ネギを植える程度の初心者なので、生産と言うほどのものではない。
 - ・一部自給自足。新鮮な野菜

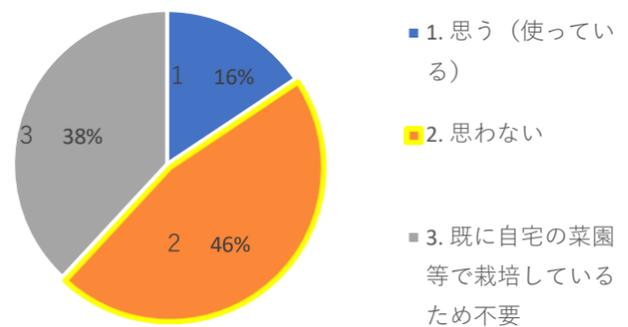
問7 鹿屋市内に「市民ふれあい農園」があり、農園の貸し出しを行っていることを知っていますか。

回答	件数	割合
1. 知っている	23	15.6%
2. 知らない	124	84.4%
合計	147	



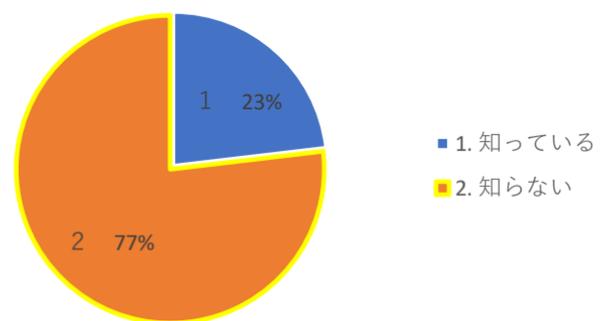
問8 ご自身で野菜等を栽培するために「市民ふれあい農園」を使ってみたいと思いますか。

回答	件数	割合
1. 思う (使っている)	23	15.6%
2. 思わない	68	46.3%
3. 既に自宅の菜園等で栽培しているため不要	56	38.1%
合計	147	



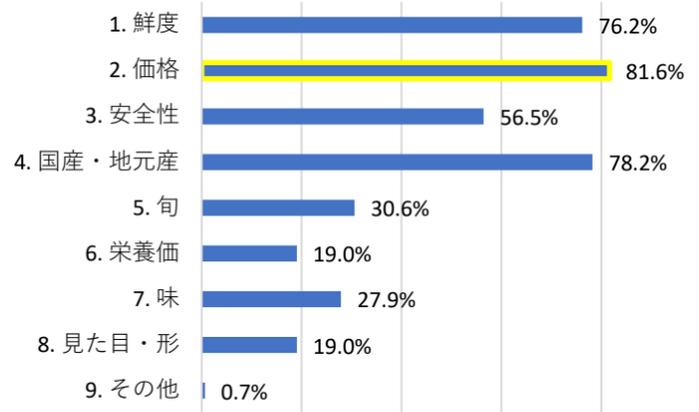
問9 「農業・農村の有する多面的機能（水源のかん養・多様な生き物の生育・美しい農村の風景・文化の伝承など）」の意味を知っていますか。

回答	件数	割合
1. 知っている	34	23.1%
2. 知らない	113	76.9%
合計	147	



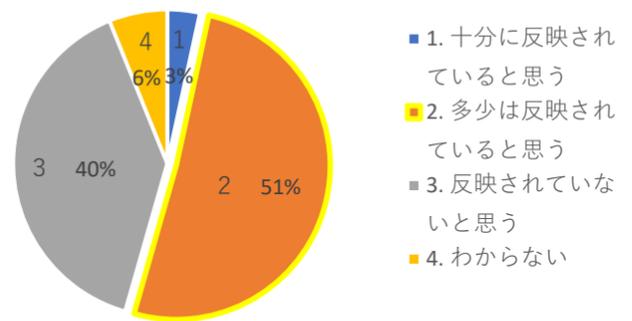
問10 農畜産物を購入するときに意識していることを選択してください。（複数選択可）

回答	件数	割合
1. 鮮度	112	76.2%
2. 価格	120	81.6%
3. 安全性	83	56.5%
4. 国産・地元産	115	78.2%
5. 旬	45	30.6%
6. 栄養価	28	19.0%
7. 味	41	27.9%
8. 見た目・形	28	19.0%
9. その他	1	0.7%
その他の内容		
・農畜産物が作られている背景等も気になります。		



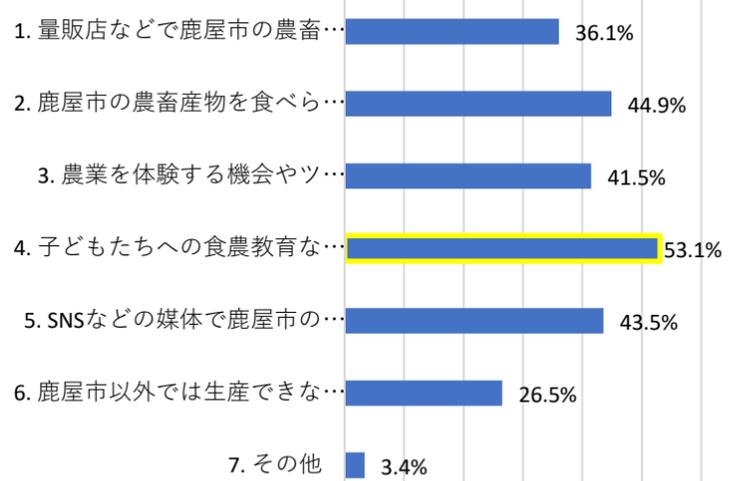
問11 農業者の苦労や生産に係る費用が、農畜産物の価格に反映されていると思いますか。

回答	件数	割合
1. 十分に反映されていると思う	5	3.4%
2. 多少は反映されていると思う	75	51.0%
3. 反映されていないと思う	58	39.5%
4. わからない	9	6.1%
合計	147	



問12 市民に、もっと農業の魅力を感じてもらうための取組として思いつくものを選択してください。（3つまで選択可）

回答	件数	割合
1. 量販店などで鹿屋市の農畜産物の販売コーナーを設ける。	53	36.1%
2. 鹿屋市の農畜産物を食べられる飲食店を増やす。	66	44.9%
3. 農業を体験する機会やツアーを増やす。	61	41.5%
4. 子どもたちへの食農教育など、幼少期から農業の理解を広める。	78	53.1%
5. SNSなどの媒体で鹿屋市の農業を拡散する。	64	43.5%
6. 鹿屋市以外では生産できないようなオンリーワンの農畜産物を作る。	39	26.5%
7. その他	5	3.4%
その他の内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・農業は儲かることをアピールする。 ・道の駅 ・鹿屋市の特産品である付加価値をもっと見出してほしい。 ・高価格帯の物を販売する。 ・JAがもっとPR活動するべきだ。 		



問13 上記のほか、鹿屋市の農業について、ご意見等があればご記入ください。

【農業全般について】

・鹿屋市の各地域の全ての耕作放棄地において一様に区画整備を進めることは難しいと思いますが、その地域にあったmethodを農業従事者と見出し、耕作放棄地から農畜産物やそれに代わるものを生み出す方法を考えていくことは必要だと思います。地方においては人口減や高齢化により耕作放棄が進み、荒れてしまった田畑が目立つ様になって久しくありません。世界の情勢を日本がコントロールすることは難しく、食料やエネルギー分野において不安定な海外情勢に私たちの生活は何度となく晒されてきました。国が潤うには外貨を獲得し、貿易を進めることが大事かもしれませんが、明日を生きられるだろうか、今日を生きること必死な生活困難者は今の日本に少なくないのではないのでしょうか。肉、米、野菜等の陸上で生産されるものの自給率をバランスよく上げていって、海外情勢に左右されない土台を築き、ロスの少ない生産が出来たなら、今より私たちの生活や心も豊かになっていくと思います。いち農業従事者としてその心積りで仕事に取り組んでいきます。

・鹿屋市はせっかく農業が盛んなのに、全然目立ってないです。もっとスポットライトを浴びてほしいです！私は県外出身で、農家さんとは縁遠くて、虫が苦手なので菌とか考えてしまい土のついた野菜を触るのが苦手です。小さい頃から農業経験がなかったので、そうってしまったかなと思います。せっかく鹿屋市に来たので、経験してみたいです！

【担い手や農地、食料安全保障などについて】

・高齢化で、この先、心配な事が起こりうる。食農の大切さを幼年期から教えていくことが、農業を担ってもらうようにしていく。

・今後の鹿屋市の農業を考えると、後継者育成が一番大事だと思います。土地はあっても作る人がいなければどんどん農業が衰弱してしまいます。その為には、鹿屋市が中心となり商工業者を巻き込んで農業の後継者育成をする方法を見つけると良いと思います。単体で農業後継者育成は難しいと思うが商工業者と一体となり行動すれば、他の市町村にない事ができるのではと思います。皆んなで知恵を出し合い検討する事が大事だと思います。

・高齢化が進んでいるので若い人の就農をフォローする必要がある。

・どんどん農地が宅地化されていますが、将来が心配になります。農業に携わる人が減っているのでしょうか。

・耕作放棄地を積極的に相談に乗り、何かに繋げていけたら一。

・鹿屋市は農地が多くまだ大丈夫と思っているかもしれませんが、しかし、日本全体での食料自給率は3割。しかも、他の先進国に比べて農薬がたくさん撒かれています。種苗法改正、種子法など市役所はしっかり勉強して食の安全を守って欲しいです。安心安全な食べ物を保持してほしい。そして、早く無農薬を広めて欲しいです。これからの子どもたちに何を食べてもらうか？大人の責任だと思います。

【農業経営的観点】

・気候変動等で農業は大変だと思います。保証がないとやっていけないのではと思います。

・農業者に対する、施策、援助などが必要である。

・市場価格をもっと上げてほしい。

・生産者が安心して生産できる価格体制が出来れば良いかな？

・農業の経費の上昇分が販売価格に反映されてない、農家の手取りが増えて来ない以上は、農家は減るでしょう。

【振興や広報のアイデアなど】

・1月に東京都であった全国の農業高生らが和牛の肥育などを競う第7回「和牛甲子園」で、鹿屋農高が日本一となる総合評価部門の最優秀賞を受賞しました。鹿屋農高の取り組みを通じて、鹿屋市の農業を情報発信できればよいと考えます。

・鹿屋市民に安価で提供するなどして、市民目線での口コミを生かすと、さらに県内外への広報になるかと思います。今の時代、インスタなどのSNSにみんなアップすると思います。

・おいしいものがたくさんあるので、現在に合わせた媒体(SNS、アンテナショップ)で、広く知っていただく機会を作って広めていただきたいと思います。

・メディアを使うなりして、もっと鹿屋の農業(農産物)を発信すべき。農家の苦勞も知ってもらうべき。

・高千穂牧場のように農家の周辺を観光地とするように市が企画したらいい。農家がまとまって経営、餌も地元産を使うようにする。

・特産物や地元食材のコンテストやブランド確率に向けたパティシエや企業のコンテスト 展示会等あればそれを持ち得たフェスの開催(この前の若大将のようなイベントと絡ませたような)を行い不特定多数が見る機会があれば興味がわくかもしれないし 新しい特産品ができるかもしれないです 買える所の紹介等

・鹿屋 ブランド をもっと PR するべきですね。

・農業をしてる人の講習会など。

・地産地消で無人販売所や、直売所、物産館を各市町村に作る。

(問13の続き)

- ・産直のお店を知らないなので、朝取りの野菜が買える店があるといい。
- ・綺麗な形の物や大きさのそろった物を市場に出すので形の悪い物なども使っていけたらムダにならず農家の方も楽しみが増えると思う。
- ・農業後継者の育成、交流、研修、大学等と連携し、日本又は鹿屋の農畜産物をまだまだ外国に輸出する発信力を行政の力も使って進めて欲しい！
- ・オーガニックが当たり前の農業になってほしい。そのために鹿屋市がお金や環境のことに協力するシステムを作ってほしい。
- ・前副市長のように農林水産に詳しい他県の方との意見交換による啓発活動

【鹿屋市の農畜産物の魅力など】

- ・野菜、肉、お茶。新鮮で美味しいです。
- ・特に田んぼで放置されているところが増えたと感じる。畑も、どんどん家になっている。鹿屋市外の方からは、鹿屋は何を食べても美味しい(飲食店)と言われたことがあるので、地産地消のおかげだと思っています。
- ・鹿屋の食材はとても優れていて特に肉は良いと関係は思うので、もっと全国にPRしてブランド化してほしい。
- ・現在大阪に住んでおり、大阪の野菜などをスーパーで購入していますが、帰省する度に、やはり鹿屋の野菜の方が美味しいなと感じます。鹿屋の野菜がとても美味しいのは事実なので、もっと多くの人が誇りに感じ、さらに農業に触れられる機会があればと思います。
- ・どっさい市場とかよく利用します。鹿屋の美味しい物がたくさんありますし、新鮮な野菜とか見るだけでたのしくなります。
- ・鹿屋の食べ物はいつも安全で美味しいとありがたく思いながら食べています。

【食育的観点】

- ・これまで農業に触れる機会がないので、これからは、子供達と一緒に積極的に関わっていきたいと思います！
- ・子どもたちが農業体験できる機会があれば参加したい。
- ・収穫量が多すぎて値段が付かず廃棄すると聞いたことがある。野菜の形ではなく、味や新鮮さ重視で購入したりする生産地ならではの食育が必要ではないか。
- ・農家に体験の修学旅行を受ける。
- ・私自身も隣町の農業パートとして働いて初めて農業に関わっております。とにかく身体がしんどかったり天候気温によっては大変です。しかし手入れ収穫、出荷をしていると美味しい野菜を皆さんに食べて欲しいと農業の楽しさを知り黙々と農業に関わる時間も好きです。大変だというイメージが大きいので是非1度体験できるような機会やどんな事をしているのか知る機会が必要だと思います。

【臭気問題】

- ・畜産臭の対策や、事業者への意識改革に積極的に取り組んで欲しい。いつになったら、新鮮な空気が吸えるのか？事業者は入れ替わっても悪臭は改善されていない。
- ・養豚場の汚水の不法放流どうにかしてください。

【その他】

- ・農作物は食べますが、実際農業に触れることも、たずさわる事も無く育ってきて、特に自分でも農作物を育ててみようとかなわないし、興味もないです。むしろ、虫とか嫌いなので、農作業をしたいとか思わないです。でも、小さい頃から、農業に触れ合う様な機会があったなら、感じ方も変わっていたのかなあと少しは思います。ただ、自分ではしようとは思わない分、暑い日や寒い日にも外で農作業して、美味しい食物を作ってくださいって方には感謝しています。
- ・仕事が忙しく中々農業に触れる機会がないところが現実です。
- ・鹿屋の農畜産物についてのイメージがあまり湧きません。自分があまり農業に携わっていないということもありますが、カンパチしか浮かびませんでした。
- ・本アンケートについて、鹿屋市在住かどうかを入力できたほうが良いのでは？鹿屋市に住んでいたら市民ふれあい農園を使いたいと回答したと思います。